

# Procrea Digest

プロクレアダイジェスト

2022年3月期ミニディスクロージャー誌

(2021年4月1日～2022年3月31日)



プロクレアホールディングス



取締役副社長  
（株式会社みちのく銀行頭取）

藤澤 貴之



取締役社長  
（株式会社青森銀行頭取）

成田 晋



# ごあいさつ

皆さまには日頃より格別のお引き立てを賜り、まことにありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けておられる皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

プロクレアホールディングスとして初めての「ミニディスクロージャー誌 プロクレアダイジェスト」をお届けいたします。どうかご一読いただき、当グループへのご理解を一層深めていただければ幸いです。

青森銀行とみちのく銀行は、4月1日、両行の完全親会社となる「株式会社プロクレアホールディングス」を設立し、グループとしての新たな一歩を踏み出しました。

私たちは「地域の未来を創る」「お客さまと歩み続ける」「一人ひとりの想いを実現する」という経営理念の下、これまで両行が培ってきたノウハウやネットワーク・情報といった強みを融合させるとともに、経営の合理化・効率化により多様な人材や投資・リスクテイク余力等を創出し、金融仲介機能・金融サービスの強化及び事業領域の拡大を進めてまいります。

プロクレアに込めた想いは「挑戦と創造」です。

地域の可能性に積極的に挑戦し、地域とお客さまの明るく豊かな未来を創る。この社名に掲げた覚悟を胸に、これからも皆さまとの絆を育みながら、皆さまとともに歩んでまいります。

今後とも変わらぬご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役社長 城田 晋

商号	株式会社プロクレアホールディングス (英文名称: Procrea Holdings, Inc.)
設立日	2022年4月1日
本店所在地	青森県青森市勝田一丁目3番1号
主な本社機能	青森県青森市橋本一丁目9番30号
事業内容	・銀行および銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の業務 ・その他、銀行法により銀行持株会社が行うことができる業務
資本金	200億円
営業店舗数	本支店・出張所 156カ店
決算期	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場(証券コード:7384)

## Contents

ごあいさつ	2
プロクレアHDの概要	3~4
第1次中期経営計画基本戦略	5
サステナビリティ方針	6
CSRの取り組み	7~8
業績ハイライト(青森銀行)	9~10
業績ハイライト(みちのく銀行)	11~12
プロクレアホールディングスの営業基盤	13
株主優待制度	14



# プロクレアホールディングスの概要

## 商号

## 株式会社プロクレアホールディングス

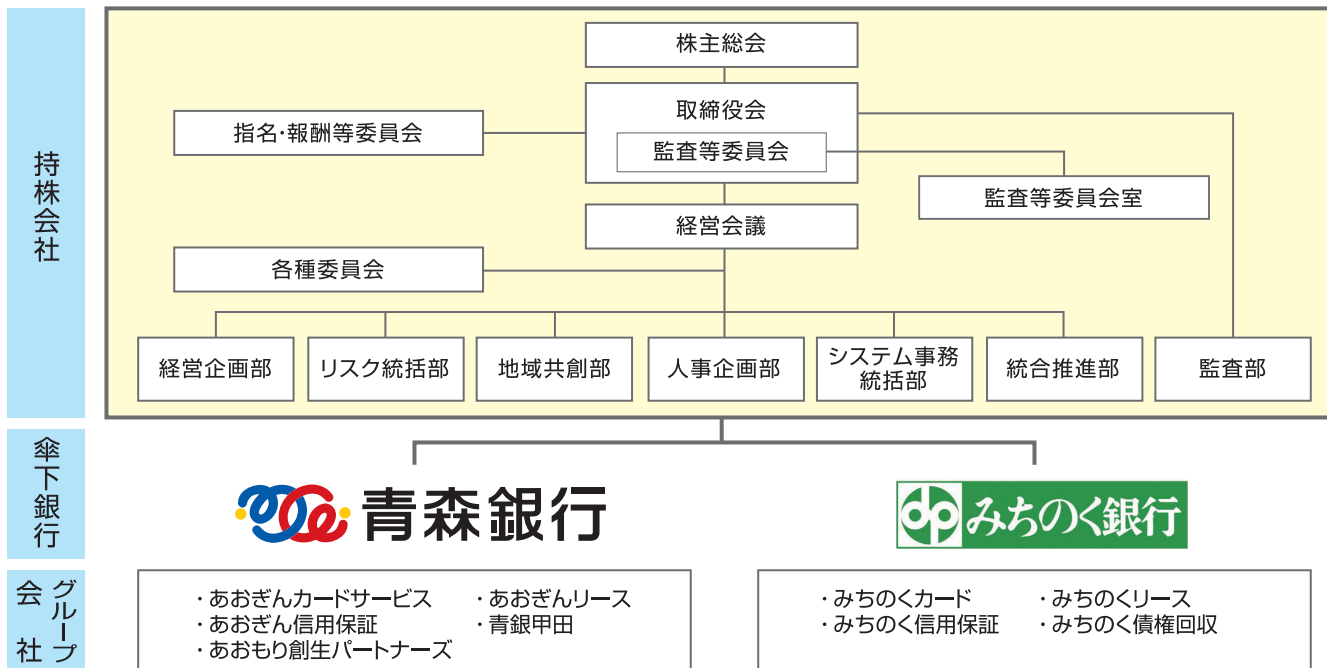
(英文名称) Procrea Holdings, Inc.

## 商号に込めた思い

### 「挑戦と創造」

「プロクレア」は、ラテン語の「挑戦(Provocatio/プローウオカティオ)」と「創造(Creare/クレアーレ)」を合わせた造語です。地域の可能性に挑戦し、未来を創るという使命と、プロフェッショナルとしてお客さまとともに前進するという姿勢を込めています。

## プロクレアホールディングスの組織図





## 経営理念

「地域の未来を創る」

「お客さまと歩み続ける」

「一人ひとりの想いを実現する」

### 理念に込めた想い

- ◆ 私たちは、健全性を堅持するとともに、地域の課題や可能性に積極的に挑戦することで、明るく豊かな未来を創ります。
- ◆ 私たちは、専門性を高めるとともに、期待を超えるサービスを追求することで、お客さまの信頼に応え、成長と発展に向けてともに歩み続けます。
- ◆ 私たちは、自主性を尊重するとともに、多様な個性を力に変えることで、自信と誇りに満ちたやりがいのある組織を築き、一人ひとりの溢れる想いを実現します。

## ブランドコンセプト

### 「挑戦と創造」

私たちは一人ひとりの個性を力に変え、  
挑戦を原動力とすることで、  
金融という枠を超えて地域の可能性を広げ  
お客さまとともに明るく豊かな未来を創造する  
「挑戦と創造」の企業グループを目指します

ブランドコンセプトは商号に込めた想いを表現して「挑戦と創造」としました。副文では経営理念に基づきプロクレアが目指す姿を表現しています。

## ブランドロゴ



挑む。超える。ともに創る。

プロクレアホールディングス

未来を切り拓く右肩上がりの矢印をモチーフに、「挑戦と創造」のブランドコンセプトを掲げるプロクレアの頭文字「P」のフォルムをかけ合わせたデザインです。

キーカラーとして、誠実かつ明快な印象を与えるプロクレアネイビーが、最良のパートナーとして地域に寄り添い続ける想いや覚悟を象徴し、「どこまでも青く美しいふるさと」と「地域に眠る無限の可能性」を深いグラデーションで表しています。

また、アクセントカラーのプロクレアオレンジはエネルギー感溢れる色味として、地域を照らす太陽と、豊かな未来へ導く光をイメージしています。

# 第1次中期経営計画基本戦略

## プロクレアホールディングス第1次中期経営計画

### 『挑戦と創造』

スローガン

シナジーを早期に実現し、強固な経営基盤を構築する

#### 経営課題

金融サービスの  
安定性と質の両立

地域産業の発展  
地域住民の生活の向上

健全かつ持続的な  
経営基盤の構築

#### 基本戦略

##### 基本戦略I

#### 金融仲介機能の強化

- ① 伴走型コンサルティングの強化
- ② 金融サービス・ソリューションの強化
- ③ 専門性の多角化と深化
- ④ サービスのデジタル化

##### 基本戦略II

#### 事業領域の拡大

- ⑤ 地域共創・総合商社モデルの構築

##### 基本戦略III

#### 経営の合理化・効率化

- ⑥ インフラ等の効率化
- ⑦ 業務のデジタル化
- ⑧ 組織体制の効率化

##### 基本戦略IV

#### グループ基盤の強化

- ⑨ 人材力の強化
- ⑩ 有価証券運用力の強化
- ⑪ リスク管理態勢の強化
- ⑫ ガバナンス体制の強化
- ⑬ その他サステナビリティ等の取り組み強化



# サステナビリティ方針

## 「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」の策定と公表

気候変動・脱炭素の問題をはじめ、健康や相対的貧困、ダイバーシティ&インクルージョン等、「サステナビリティ」への関心は高まる一方です。当方針は、そのような環境下、持続可能な社会の実現に向けたプロクレアホールディングスとしての今後の取り組みの方向性を内外に示すものとして位置付けております。

## 「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」 彩り豊かな未来を、次の世代に

私たちは、愛する“ふるさと”を美しいまま次の世代に受け継いでいくため、彩り豊かな未来の創造に向けて挑戦してまいります。地域におけるあらゆる課題や無限の可能性と向き合い、環境、社会、ガバナンスの観点から持続可能な事業活動を通して皆さまとともに歩み続けます。

### ステークホルダーとのお約束

#### 自然・環境

環境保全と調和した地域経済の成長を目指し、気候変動や自然への影響を常に意識しながら事業活動に取り組んでまいります。

#### 地域社会

自然資本・人的資本の価値が最大限発揮され、ますます魅力あふれる社会となるよう、皆さまとのコミュニケーションを大切に地域社会の発展に貢献いたします。

#### お客さま

お客さまの最良のパートナーとして、社会の変化に対応しながら、常にお客さまに安心かつ最適なソリューションを提供いたします。

#### 従業員

役職員一人ひとりが健康で自分らしくいきいきと働き続けられ、多様な活躍ができる会社づくり・組織風土づくりを進めてまいります。

#### 株主・投資家

地域の皆さまとともに発展し、すべてのステークホルダーより高い信頼を寄せられる、魅力ある企業であり続けます。



## 「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言」への賛同表明

近年、世界各地で異常気象や自然災害による被害が甚大化しており、当社グループの営業基盤である青森県においても、2021年8月には集中豪雨による大きな被害が発生するなど、気候変動が及ぼす地域社会への影響は日増しに大きくなっています。

こうした状況を踏まえ、当社グループは、「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」の下、気候変動を含む「自然・環境」への対応を重要課題と位置付けており、気候変動への対応を強化することを目的として、「TCFD提言」への賛同を表明いたしました。今後は、持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動がもたらす様々なリスクや機会の分析を進めるとともに、本提言に則した情報開示の充実に努めていきます。

#### TCFD提言とは

気候変動に対する取り組みが重要性を増していることを背景に、気候関連の情報開示や金融機関の対応をどのように行うのかを検討するため、G20の要請を受けた金融安定理事会により設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」によって公表された提言。企業等に対して、気候変動がもたらすリスクや機会に関するガバナンス体制や経営戦略、リスク管理の手法等を開示することを推奨している。

# CSRの取り組み



## SDGs浸透企画『2030年からの、ありがとうのために。』を公開中



2021年1月から11月、青森県内におけるSDGsの理解・浸透および意識向上の促進を目的として『2030年からの、ありがとうのために。』を配信し、現在YouTube公式チャンネルにて公開しています。

本動画は、ご当地VTuber「青森りんこ(※)」とのコラボ企画で、SDGsの世界的なゴール(目標)を青森県版にローカライズし、「青森県にとってのSDGsとは何か」という視点で身近にある地域の課題などを分かりやすく解説したものです。

動画の制作にあたっては、青森県およびSDGsに取り組んでいる青森県内の大学・学校や団体等のご協力をいただきました。



(※)青森りんこ

2019年より活動を開始した、バーチャルコチューパー。「青森を元気に!」をモットーに、ホームページやTwitter、YouTubeなどで青森の魅力を発信している。



## 「テイクアウト-1ドラフト」の開催



県内の事業者支援の取り組みとして「テイクアウト-1ドラフト」を開催しました。この企画は、事業者と県内スーパーマーケット2社(紅屋商事株式会社、株式会社マエダ)がタイアップしてテイクアウト商品の開発を行い、最終的に「事業者監修商品」として両社各店で販売するものです。

2021年9月、参加事業者の募集を開始し書類選考や最終選考を経て、2月にマエダ全店で2事業者2商品、3月にカブセンター、ベニーマート全店で2事業者の2商品が完成し店頭に並びました。どの商品も大変人気で、販売期間中はほとんどの店舗で完売するなど、多くのお客様にお買い求めいただきました。





## 金融教育への支援



地域経済の将来を担う子どもたちの金融リテラシー向上に向けた普及活動に取り組んでいます。

楽しみながら金融知力を身につけることができる、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」青森大会を主催いたしました。

また、小学生を対象として、銀行の役割やお札の鑑定、クイズなどを通してお金に関する知識を身につけることを目的とした、「みちぎんキッズスクール2022」をオンラインで開催いたしました。



## 地域貢献「100の恩返し」



2021年10月に迎えた創立100周年にあたり、地域の皆さまやお取引先へ感謝の想いを込めた「恩返し」活動を展開いたしました。本部および各営業店において、清掃活動、フードバンク事業への参加、地域のイベントへの協力など、延べ100件恩返しいたしました。



清掃活動(浅虫)



フードボックス設置



エコキャップ運動



児童支援施設への絵本贈呈



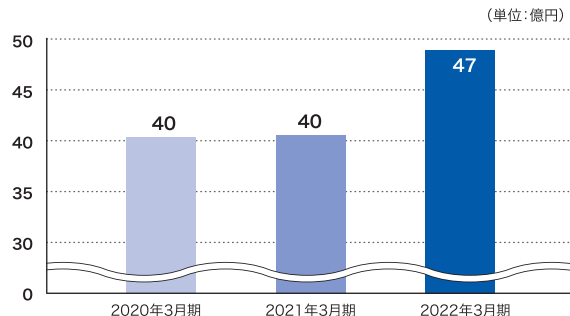
オリジナル南部煎餅プレゼント



# 業績ハイライト

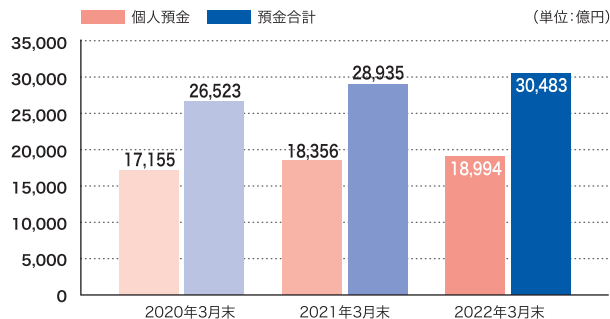
## コア業務純益の状況

コア業務純益は、資金運用収益の減少により資金利益が減少したものの、役務利益の増加や経費の減少等により、前年同期比6億円増益の47億円となりました。



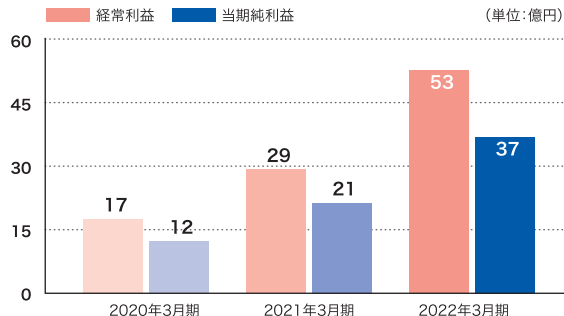
## 預金(譲渡性預金を含む)の状況

譲渡性預金を含めた総預金残高は、個人預金及び公金預金が順調に推移したことにより、前年度末比1,548億円増加の3兆483億円となりました。



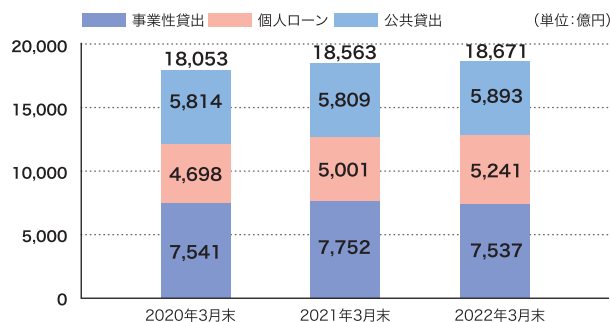
## 経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、株式等売却益の増加等により有価証券関係損益が大きく改善したほか、与信費用が減少したことにより、前年同期比23億円増益の53億円となりました。また、当期純利益についても経常利益の増益を要因として、前年同期比15億円増益の37億円となりました。



## 貸出金の状況

貸出金は、新型コロナウイルス関連の制度融資の需要が一巡したに加え、県外の市場性貸出の減少等により事業性貸出は減少したものの、住宅ローンを中心とした個人ローンの増加により、前年度末比108億円増加の1兆8,671億円となりました。



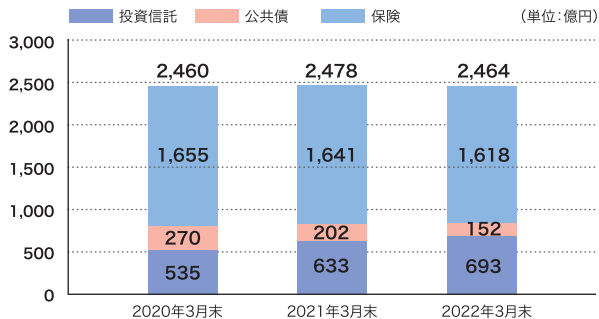
### 用語解説

■コア業務純益 預金・貸出・為替業務など銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。



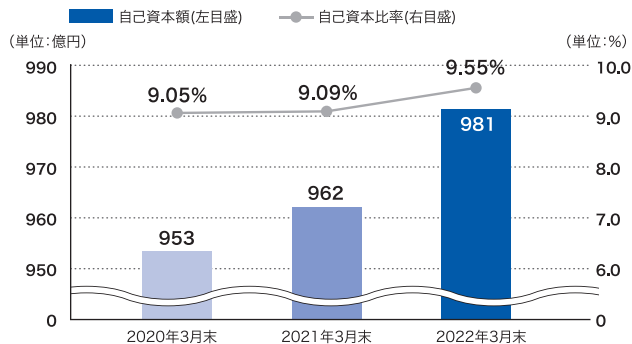
## 預かり資産の状況

預かり資産は、販売額の増加により投資信託が増加したものの、公共債及び保険が減少したことから、前年度末比13億円の減少となりました。



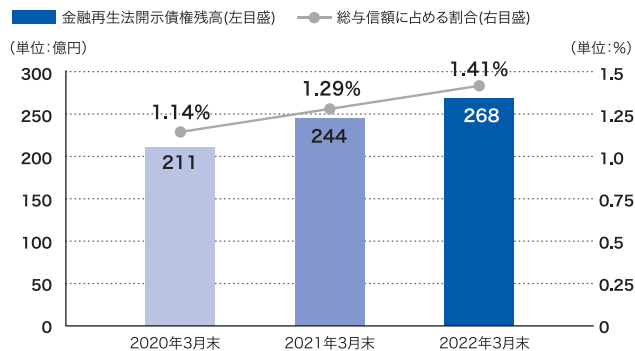
## 自己資本比率の状況

単体自己資本比率は、利益の積上げ等による自己資本額の増加に加え、有価証券の減少等によりリスクアセットも減少したことから、前年度末比0.46%上昇の9.55%となりました。



## 金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権は、危険債権の増加等により、前年度末比24億円増加の268億円となりました。また、総与信額に占める開示債権額の比率は、前年度末比0.12%上昇の1.41%となりました。



■ 経常利益 コア業務純益に有価証券関係損益や与信費用(不良債権処理に関する費用など)を加減した利益です。

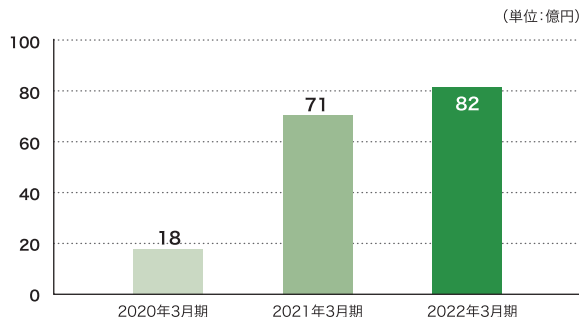
■ 当期純利益 経常純益に特別利益や税金などを加減した最終的な利益です。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

# 業績ハイライト

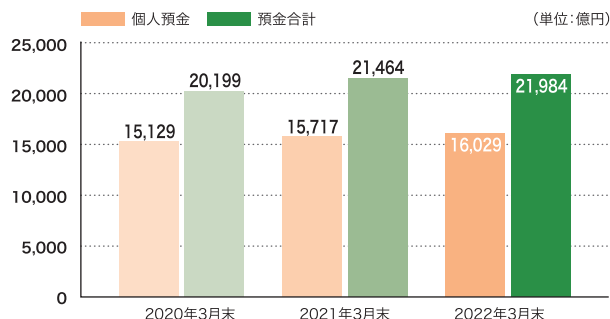
## コア業務純益の状況

資金運用収益の増加による資金利益の増加や物件費等の経費の減少等により、前年同期比11億円増益の82億円となりました。



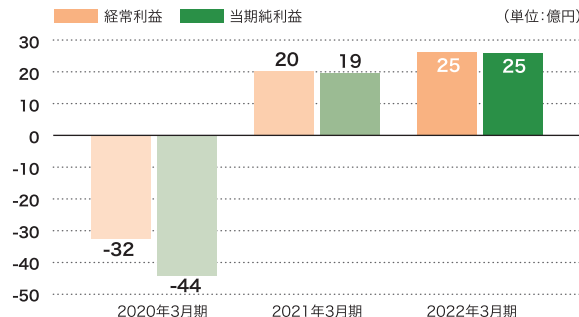
## 預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金が増加したこと等により、期末残高で前年度末比520億円の増加となりました。



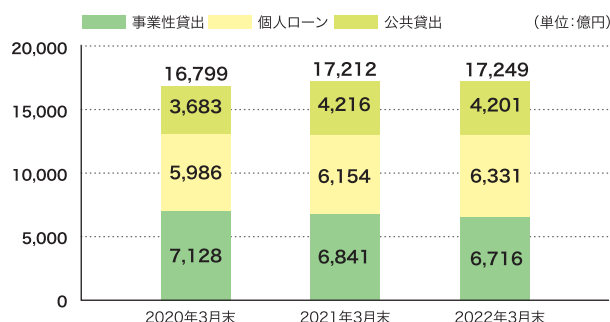
## 経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、与信費用の減少等により前年同期比5億円増益の25億円となりました。また、当期純利益についても前年同期比5億円増益の25億円となりました。



## 貸出金の状況

貸出金は、住宅ローンを中心とした個人ローンの増加により、期末残高で前年度末比36億円増加し、1兆7,249億円となりました。



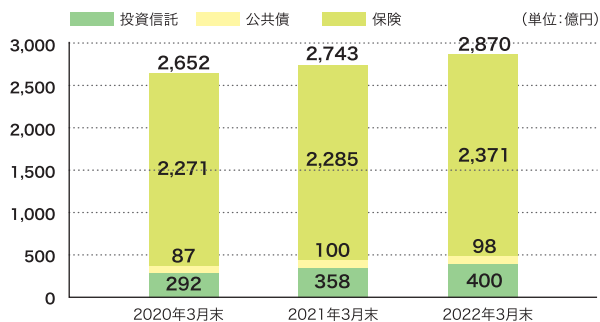
### 用語解説

■コア業務純益 預金・貸出・為替業務など銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。



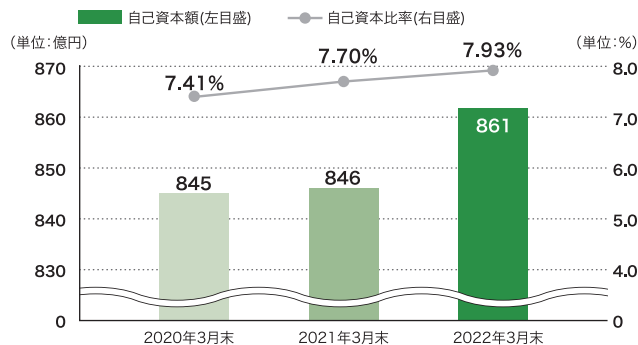
## 預かり資産の状況

預かり資産の期末残高は、公共債は減少したものの、保険残高が増加したこと等から前年度末比126億円の増加となりました。



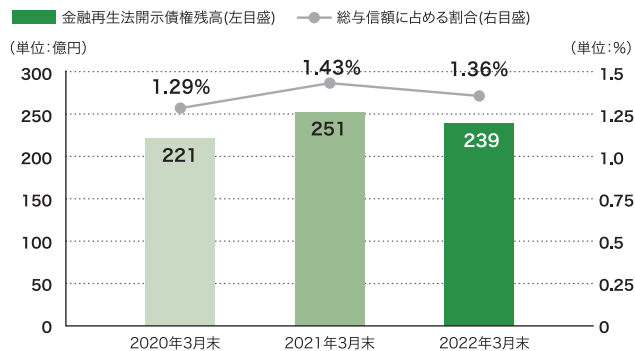
## 自己資本比率の状況

自己資本比率は、利益の積上げ等による自己資本額の増加を要因として、単体ベースで前年度末比0.23%上昇の7.93%となりました。



## 金融再生法開示債権の状況

当期末の金融再生法開示債権は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権の減少等により、前年度末比11億円減少の239億円となりました。また、総与信額に占める開示債権額の比率は、前年度末比0.07%低下し、1.36%となりました。



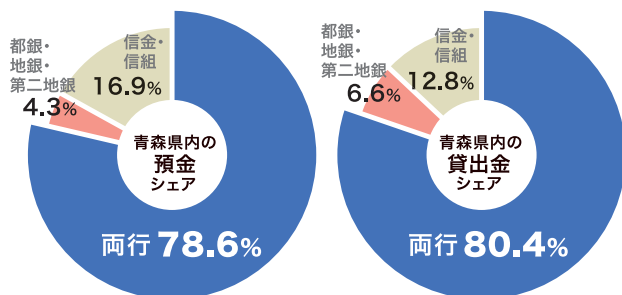
■ 経常利益 コア業務純益に有価証券関係損益や与信費用(不良債権処理に関する費用など)を加減した利益です。

■ 当期純利益 経常純益に特別利益や税金などを加減した最終的な利益です。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

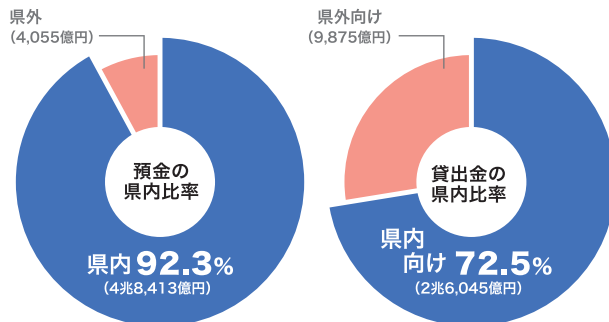
# プロクレアホールディングスの営業基盤

## 預金・貸出金の県内シェア (2022年3月31日現在)



※ゆうちょ銀、労金、農協、政府系金融機関を除く

## 預金・貸出金の県内比率 (2022年3月31日現在)

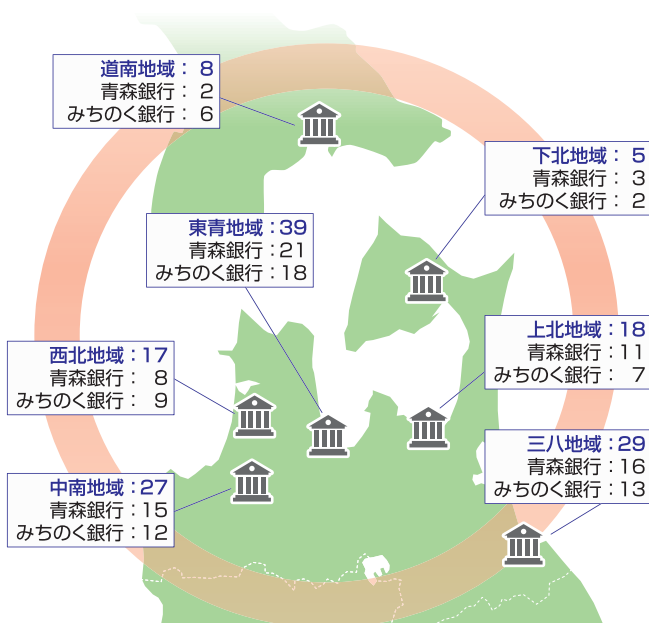


総預金残高 5兆2,468億円

貸出金残高 3兆5,921億円

## 主要拠点

青森県内から道南地域にかけて強い基盤を有しております。



## 拠点数

都道県	青森銀行	みちのく銀行	両行計
青森県	74	61	135
東青地域	21	18	39
中北地域	15	12	27
三北地域	16	13	29
西北地域	8	9	17
上北地域	11	7	18
下北地域	3	2	5
北海道	3	7	10
岩手県	1	2	3
宮城県	1	1	2
秋田県	2	2	4
東京都	1	1	2
合計	82	74	156

# 株主優待制度

◆ 青森県を中心とした地元の特産品等を掲載したカタログより、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。

## 初回 (2023年3月31日を基準日とする株主優待内容)

保有株式数	保有期間	優待品の金額
100株以上1,000株未満	半年以上継続保有※	3,000円相当
1,000株以上		6,000円相当

※ 半年以上継続保有とは、「2023年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で2022年9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」といたします。

## 2回目以降 (2024年3月31日を基準日とする株主優待内容)

保有株式数	保有期間	優待品の金額
100株以上1,000株未満	1年以上継続保有※	3,000円相当
1,000株以上		6,000円相当

※ 1年以上継続保有とは、「当年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で前年の3月末日および9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」といたします。

## 株式のご案内 (2022年4月1日現在)

### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年です。

### 定時株主総会

毎事業年度終了の翌日から3ヵ月以内に開催します。

### 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日とします。  
その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

### 配当金

期末配当金は、株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、株主総会終了後お支払いします。

中間配当金は、取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、お支払いします。

### 単元株式数

当社の単元株式数は100株です。

### 公告方法

電子公告とします。なお、電子公告は当社ホームページ (<https://www.procrea-hd.co.jp/>) に掲載します。

### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

●株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

●郵便物送付先および電話照会先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

### 株式取扱手数料

株式取扱規程に定める手数料を申し受けます。

皆さまにもっと寄り添うために。  
私たちは、挑戦の時を迎えた。

これまで皆さまに育んでいただいた絆。  
その信頼をひとつに束ねて、  
時を超え、豊かな未来を創造する力となることが  
私たちの使命だ。

それは、金融という枠にはとどまらない。  
地域の課題や、眠っている無限の可能性と向き合い、  
皆さまとともに歩み続ける。

そう。私たちの歩みは、  
今までも、そしてこれからも地域とともにある。  
最良のパートナーとして  
あらゆる想いに応えていく。

どこまでも青く美しい私たちのふるさと。  
ずっとこの地を愛する人々のために。

**挑む。超える。ともに創る。**

 **プロクレアホールディングス**

発行 / 株式会社プロクレアホールディングス 経営企画部  
〒030-8668 青森県青森市橋本一丁目9番30号(本社) TEL 017-777-5111  
URL <https://www.procrea-hd.co.jp> メールアドレス [kouhou@procrea-hd.co.jp](mailto:kouhou@procrea-hd.co.jp)

(この小冊子は、商品勧誘を目的とするものではありません。)

※森林認証を受けた「環境にやさしい」用紙を使用しています。